

## 10月1日より、新しい医師が入職しました。



前 岐阜大学 医学系研究科  
内分泌代謝病態学 准教授 医局長

副院長、免疫・内分泌疾患センター長

### 諏訪 哲也 (すわ てつや)

(1991年 岐阜大学 卒業)

#### 専門分野

▶ 内科一般 ▶ 内分泌 ▶ 糖尿病 ▶ 高血圧

#### 資格

- ・日本内科学会:認定内科医、総合内科専門医、指導医
- ・日本内分泌学会:内分泌代謝科(内科)専門医、指導医
- ・日本糖尿病学会:専門医
- ・日本内分泌学会・日本糖尿病学会:  
内分泌代謝・糖尿病内科領域研修指導医

#### 所属学会

- ・日本内科学会 ・日本内分泌学会 ・日本糖尿病学会 ・日本炎症・再生学会 ・日本高血圧症学会
- ・日本老年医学会 ・日本臨床免疫学会 ・日本ステロイドホルモン学会 ・米国内分泌学会

2002年の帰局後より岐阜大学第3内科(糖尿病・内分泌代謝内科学)での20年余に及ぶ勤務を終え、10月より赴任いたしました。前任地では、内分泌代謝領域を中心に、診療、研究、教育にあたって参りました。また、内科・内分泌に関連した学会活動や市民講座などの社会活動にも参加しておりました。岐阜市出身であり、大学卒業後もキャリアの大半を県内及び周辺地域にて過ごしてきています。こうした自身のバックグラウンドを活かして当院では、職員の皆様と共に地域医療をさらに発展させられるよう、また病院運営においてもしっかりと貢献できるよう、次のステップを踏み出したいと考えます。よろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



内科 医員

### 應武 ゆうや スティーブン

(おおたけ ゆうや すていーぶん)

(2018年 山形大学 卒業)

#### 専門分野

▶ 内科一般

#### 所属学会

- ・日本内科学会
- ・日本救急医学会
- ・American College of Physicians



内科 医員

### 應武 絢子

(おおたけ あやこ)

(2018年 山形大学 卒業)

#### 専門分野

▶ 内科一般

#### 所属学会

- ・日本内科学会

次のページは、「TAVI治療」について

## Matsunami Information

### NEWS

## 当院をご利用される皆さまへ、新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

引き続き、多大なご迷惑とご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。各お知らせの詳細は、右のQRコードよりご確認ください。

面会禁止、  
夜間施設について



発熱症状で  
受診される方へ

来院前に  
ご確認ください



### 松波総合病院柔道練習会のご案内

当院の柔道部発足に伴い、柔道の練習会を開催しています。柔道経験者だけでなく、未経験の方でも一からご指導します。女性の方には、護身術をお教えいたします。

下記の日程・場所で行っておりますので、ご家族・ご友人などお誘い合わせのうえ、参加される方は、下記の連絡先に事前申し込みをお願いします。



日時 毎週月曜日・木曜日(祝日は休止です)  
17時30分～19時00分

場所 笠松中央公民館  
1階 多目的室 柔道場

連絡先 058-388-0111(内線 51668)  
松波総合病院 柔道部監督 松井

### 柔道部からのお知らせ

当院の杉浦 冬唯選手が10月5日(水)に岐阜県庁、10月13日(木)に笠松町役場を表敬訪問しました。杉浦選手は8月27日(土)、28日(日)に開催された「第52回 全日本実業柔道個人選手権大会」の男子66kg級で準優勝をしました。表敬訪問ではその大会結果の報告、今後の活動について意気込みを語りました。



▲古田 肇知事と杉浦 冬唯選手  
(岐阜県庁を表敬訪問)



▲古田 聖人町長と杉浦 冬唯選手  
(笠松町役場を表敬訪問)

### 駐車場のご案内

立体駐車場への入庫は、左折のみとさせていただきます。右折入庫は渋滞の原因となりますので、右折入庫をなさらないよう、ご理解とご協力をお願いいたします。



### ARアプリ COCOAR導入しました!!

アプリを起動し、  
「月刊まつなみ」の表紙でお試ください!!



ダウンロード・詳しい使い方は  
こちらから!(リンク先は病院HPです)



社会医療法人蘇西厚生会  
**松波総合病院**

〒501-6062 岐阜県羽島郡笠松町田代185-1

TEL 058-388-0111(代)

FAX 058-388-4711

<https://www.matsunami-hsp.or.jp/>

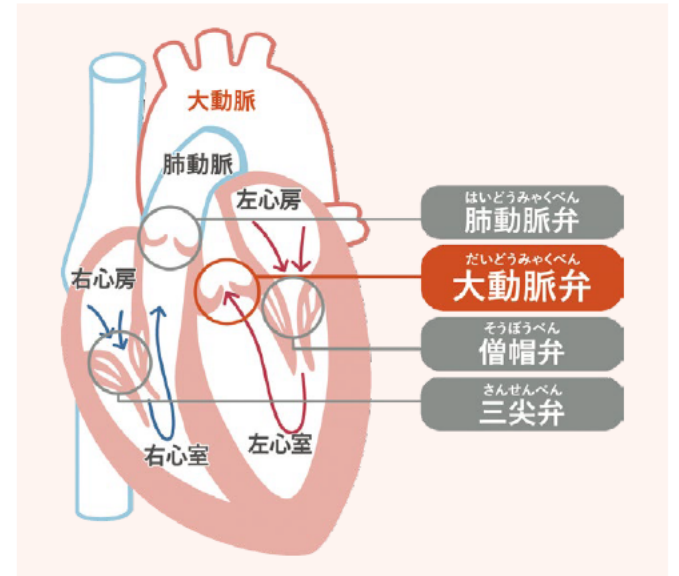




# 経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)は、大動脈弁狭窄症の治療方法の一つです。 従来の手術より身体的な負担が少なく、術後の回復も早いという特徴があります。 今回は、今年の8月から当院で実施開始となったTAVI治療についてご紹介します。

## 「大動脈弁狭窄症」とはどんな病気？

「大動脈弁狭窄症」とは、心臓の弁のひとつである大動脈弁が、きちんと開かなくなる病気です。  
弁がきちんと開かなくなると出口の狭窄を引き起こし、左心室から大動脈に血液を送り出すことができなくなります。  
その結果、心臓に大きな負担がかかるようになり、進行すると症状の出現や心臓のポンプ機能が弱くなる心不全を引き起こします。これが「大動脈弁狭窄症」です。  
重症化した場合、根本的に治療するためには大動脈弁の人工弁への置換手術が必要であり、【外科的治療】もしくは【カテーテル治療】がおこなわれます。



|                                                                                                                     |    |     |    |     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|----|-----|
| <b>狭窄の原因</b><br>弁の扉の役割をしている弁尖の部分が硬くなったり、弁尖同士が接着してしまうことで正常に弁の開閉が行われなくなり、狭窄を引き起こします。                                  | 軽症 | 中等症 | 重症 | 超重症 |
| <b>症状</b><br>軽い日常動作で息切れが起こる、体のだるさ、胸の痛み、足のむくみなどの症状がみられるようになります。加齢による体の変化と混同しやすいため、症状の進行に気づかない場合があります。                |    |     |    |     |
| <b>当院での治療方法</b><br>当院の大動脈弁狭窄症治療は、外科的治療（開胸手術）を中心におこなっておりましたが、2022年8月より実施施設の認定を経て、経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)による治療が可能となりました。 |    |     |    |     |

## 経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)

経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)は、大動脈弁狭窄症の新しい治療法です。日本では2013年より保険適応となりました。

機能が低下している大動脈弁をカテーテルと呼ばれる医療用の管を用いて、人工弁と置き換える手術です。外科的治療を行う際に必要な胸部・心臓の切開や人工心肺装置使用の必要がなく、身体への負担が軽く、術後の回復も早いので入院が短期間で済むことが特徴です。

多くの場合は、太ももの付け根を切開し、血管から弁を装着したカテーテルを挿入する「経大腿アプローチ」によって人工弁を患者さんの心臓に留置します。

そのほか、鎖骨付近から挿入する経鎖骨下動脈アプローチ(TSc)、胸骨上部から挿入する経大動脈アプローチ(TAo)、肋骨の間から挿入する経心尖アプローチ(TA)がありますが、いずれの方法もカテーテルを挿入する小さな傷のみで手術を行います。

### 経大腿アプローチの手順

- 人工弁を装着したカテーテルを、太ももの付け根の数cmの小さな切開創から大腿動脈に入れて心臓まで運びます。
- 人工弁が大動脈弁の位置に達したら、バルーンを膨らませ、人工弁を広げて留置します。
- 留置した後は、カテーテルを抜き取ります。人工弁は留置した直後から新たな弁として機能します。

|                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>治療の対象</b><br>重症の大動脈弁狭窄症の方で、ご高齢の方、心臓の手術を受けたことのある方、胸部の放射線治療を受けたことのある方、呼吸器や肝臓の病気を持たれている方、一部の特殊な薬を内服している方など、従来の開胸手術が困難と判断される方が対象者となります。                                                                         |
| <b>合併症</b><br>低侵襲な治療ですが危険性がないわけではなく、対象となる患者さんによっては死亡や合併症の可能性があります。以下のような合併症が起こりえます。<br>●血管や心臓の破裂、出血 ●冠動脈閉塞<br>●不整脈(ペースメーカーの植え込みが5～10%で必要になります)など留置がうまく出来ない、または合併症が起きた時は救命目的に開胸手術が必要となることがあります。手術が必要となることがあります。 |

当院の経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)第1症例目を実施しました。  
2022年10月上旬、当院初の経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)を実施いたしました。実施施設承認後、初の症例となりました。



大動脈弁狭窄症の治療に関するご相談は、循環器内科へ受診・お問合せください。

|                                 |                     |                    |
|---------------------------------|---------------------|--------------------|
| <b>診療場所</b><br>まつなみ健康増進クリニック 2階 | <b>循環器内科 診療科ページ</b> | <b>循環器内科 診療担当表</b> |
|---------------------------------|---------------------|--------------------|

## 担当医師プロフィール

|                                                                                                                                                                   |                                            |                                                                                                                                                                    |                                            |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| <b>循環器内科</b><br>循環器内科 副部長<br><b>近藤 裕樹</b><br>(こんどう ひろき)                                                                                                           | <b>専門分野</b><br>▶ 冠動脈・末梢動脈のカテーテル治療<br>▶ 弁膜症 | <b>心臓血管外科</b><br>心臓血管外科 低侵襲心臓外科 部長<br><b>石田 成史洋</b><br>(いしだ なりひろ)                                                                                                  | <b>専門分野</b><br>▶ 成人心臓・大動脈外科手術<br>▶ 低侵襲心臓手術 |
| <b>資格</b><br>・日本内科学会:認定内科医、総合内科専門医<br>・日本心血管インターベンション治療学会:認定医<br>・日本循環器学会:循環器専門医<br>・浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会:実施医<br>・日本心不全学会・日本不整脈心電学会:植え込み型除細動器/ペースングによる心不全治療研修修了 |                                            | <b>資格</b><br>・日本外科学会:外科認定医、専門医、指導医<br>・三学会構成心臓血管外科専門医認定機構:心臓血管外科専門医、修練指導医<br>・日本脈管学会:脈管専門医、研修指導医<br>・日本ステントグラフト実施基準管理委員会:腹部ステントグラフト実施医、腹部ステントグラフト指導医、胸部ステントグラフト実施医 |                                            |